

【請願第4号】

世界アルツハイマーデーのマリン大橋ライトアップの請願について

議員名	反対理由
肥後 孝俊	水銀灯から LED 照明に取り替えるのに、多額な費用がかかり、費用対効果が不明のため。
大谷 学	数百万の多額の経費を要するため。
沖田 真治	コロナ禍、物価高騰により市民生活は疲弊している状況下であると認識している。啓発の方法は他にもあり、多額の予算をかけてすべき事業とは思えないため。
足立 豪	マリン大橋をライトアップすることと世界アルツハイマーデーの啓発活動がリンクしているとは考えにくく、市民への理解度も時間がない。それよりも他の手段で対象者へ寄り添った啓発活動が効果的であると考えため。
村武 まゆみ	認知症の啓発活動は必要であると考えるが、かかる費用が多額である。執行部から、今年度は啓発活動を実施することと判断した。
川上 幾雄	必要な費用に反して効果が少ない。かかる経費は実務的に活用すべきであり不採択。
串崎 利行	経費も要るので、別の方法を望む。
上野 茂	他に啓発計画を執行部は考えている。趣旨は理解するが、費用が高い。
布施 賢司	現状のライトアップ対応で良いと思うし、1基100万円の経費は高い。
岡本 正友	周知と効果、費用について課題。
永見 利久	ライトアップにかかる経費が多額であるということと、執行部はすでに他の啓発活動を計画されている。
田畑 敬二	LEDに変更するには多額な費用がかかり、効果が見込めない。
西田 清久	ライトアップにかかる数百万円の経費は、認知症の方々に直接的・有効的に活用されることが望ましいと考えるため。
川神 裕司	認知症支援に関しては推進すべきと考えるが、ライトアップのために相当な経費を必要とする理由で反対する。その経費を具体的な認知症対策に使用すべき。